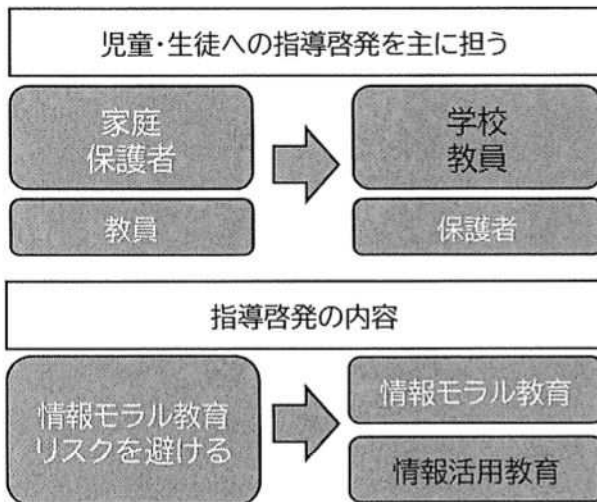


【資料3】
「子どもとメディア」に関する協議会の在り方と
小・中・義務教育学校・女子高における
GIGAスクール時代における新しいメディア教育の取組みについて

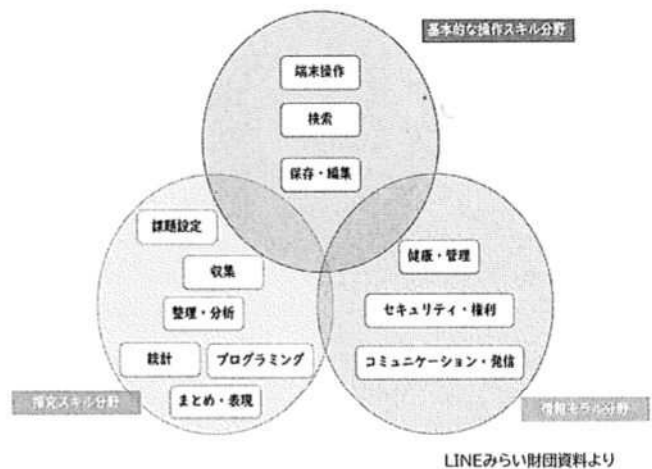
学校教育課 ICT教育推進係

■現在の学校を取り巻く状況

- GIGAスクール前(～R元年度): デジタル機器は家庭で使うもの。保護者への啓発がメイン。
- GIGAスクール後(R2年度): 学校内での学習にデジタル機器(タブレット、電子黒板)を使う。



情報活用能力のイメージ



■松江市の状況と課題

小・中・義務教育学校の現在のICT活用の状況

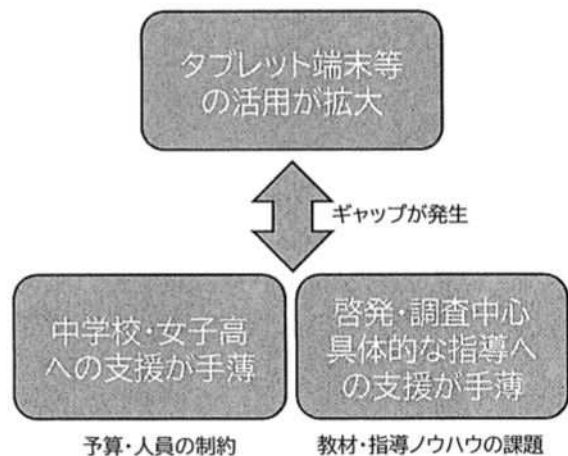
- 松江市のタブレット整備: R2年度末に1人1台 → R3年度・R4年度・R5年度で活用が広がっている。
- R5年度の夏休み: 全校の85%が家庭等への持帰り実施 → タブレットを活用した授業・自学等が日常化へ。

現在のメディア教育への支援状況

- 「希望」する「小学校」へ「メディア学習推進員」を派遣
- 乳幼児期からの保護者への啓発活動
- メディアコントロールウィーク活動等の学校ごとの取組み
- 教員・保護者への啓発研修(年1回)
- アンケート、調査事業 など

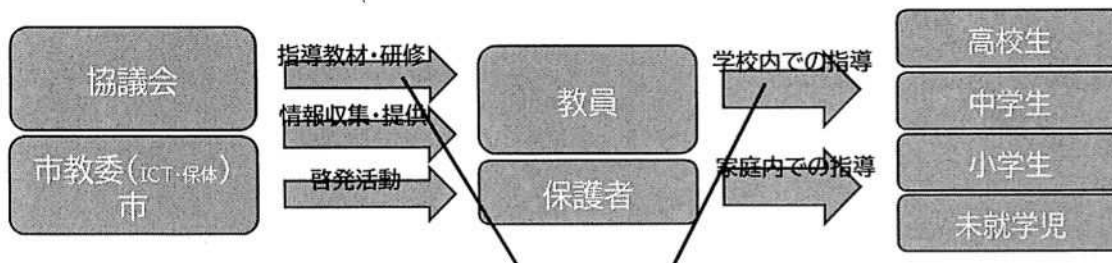
不適切なICT利用に関わる事案

- 市立中学校の生徒がSNSに不適切動画を投稿する事案
- タブレットで不適切キーワード検索をする事案増加(R5年度「自死」関連キーワード感知: 91件)
- SNSトラブル件数: R3年度36件 → R4年度58件(増加傾向※小学校が増加)生徒指導推進室調べ



■ありたい姿・目指す方向性

- ① GIGAスクール時代に対応した「情報活用能力」を育成する具体的な取り組みの推進
デジタルのリスクを「理解」し「管理」「対応」できる能力の育成
- ② デジタル機器の不適切利用による心身への悪影響を防ぐため、保健体育係(学校教育課)と連携し、
養護教諭や保健体育担当教諭を中心に研修・啓発活動等を実施し、各校での取り組みを活性化



教員が授業等のなかで児童・生徒を指導できるようになることが重要
健康面での取り組みは養護教諭・保健体育担当者が各校の活動をリード

■活用したい情報モラル教材と今後のロードマップ(案) ・「LINEみらい財団」×静岡大学が作成した



- ・「LINEみらい財団」×静岡大学が作成した「GIGAワークブック」
- ・「覚書」を締結することで「無料」で利用可能
- ・年1回のオンライン研修(無料)
- ・①ビギナー版(小1～小3)
- ・②スタンダード版(小4～小6)
- ・③アドバンスド版(中・高生)
- ・指導者用ガイドブック・ワークシート・指導案

- ① 「情報活用」と「情報モラル」をセットで学ぶ
- ② 45分でも15分でも実施でき、学級で議論できる
- ③ ICTの活用場面で使える「活用型情報モラル」教材

